

四日市港CNP形成計画（案）の概要

四日市港CNP形成計画策定の目的

▶本計画は、四日市港の港湾区域及び臨港地区はもとより、四日市港を利用する荷主企業や港湾運送事業者、船会社など、民間企業等を含む港湾地域全体を対象とし、水素・燃料アンモニア等の受入環境の整備や、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化、集積する臨海部産業との連携等の具体的な取組について定め、四日市港におけるカーボンニュートラルポート(CNP)の形成の推進を図るもの

1 四日市港の特徴

2 四日市港CNP形成計画における基本的な事項

2-1 CNP 形成に向けた方針

(1) 水素・燃料アンモニア等のサプライチェーンの拠点としての受入環境の整備

(2) 港湾地域の面的・効率的な脱炭素化

2-2 計画期間、目標年次

▶政府の温室効果ガス削減目標等を踏まえ、2030年度及び2050年に設定

2-3 対象範囲

▶公共ターミナルにおける取組に加え、倉庫、発電所等の活動も含め、港湾地域全体を俯瞰して設定

2-4 計画策定及び推進体制、進捗管理

▶計画策定後も協議会を定期的(年1回以上)に開催し、計画の推進を図るとともに、計画の進捗状況を確認・評価する。評価結果や、政府の温室効果ガス削減目標や脱炭素化に資する技術の進展等を踏まえ、適時適切に計画の見直しを行うこと等を記載

3 温室効果ガス排出量の推計

4 温室効果ガス削減目標及び削減計画

4-1 温室効果ガス削減目標

(1) 2030 年度における目標

▶2013年度比42%削減、さらに高みの47%削減を目指す

(2) 2050 年における目標

▶カーボンニュートラルの実現

4-2 温室効果ガス削減計画

▶上記目標を達成するために実施する取組内容を記載

5 水素・燃料アンモニア等供給目標及び供給計画

(1) 需要推計・供給目標

▶水素換算での需要量(=供給目標)を推計

2030年度:約90万トン、2050年:約255万トン

(2) エネルギーキャリアの設定

▶4つのシナリオを想定し、シナリオごとのキャリア需要量を推計

①液化水素100%、②アンモニア100%、③MCH100%、④四日市港の特性に応じた配分

(3) 水素・燃料アンモニア等に係る供給施設整備計画

▶供給目標を実現するために想定される供給施設整備計画について、シナリオごとに必要な施設や用地面積等を記載

(4) 水素・燃料アンモニア等のサプライチェーンの強靱化に関する計画

6 港湾・産業立地競争力の向上に向けた方策

▶「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議」や四日市コンビナートのカーボンニュートラル化に向けた会議等も踏まえ、国内外の投資を呼び込み、その投資による波及効果で地域全体が持続的に成長・発展していくため、脱炭素化に向けた施設や道路等の整備、取組に必要な用地の確保等について検討する旨を記載

7 ロードマップ

▶水素・燃料アンモニア等のサプライチェーンの拠点としての受入環境の整備や港湾地域の面的・効率的な脱炭素化に係るロードマップを記載